

池大雅「真景」論攷

出光佐千子（出光美術館館長・青山学院大学准教授）著

日本文人画の大成者として高く評価されてきた池大雅（一七三三―一七七八）。大雅が生涯描いた「真景図」について、その思想を中国の名勝図にまで拡げることで、大雅の「真景」観について詳細な作品分析を行っている。その意識の根底には、中国の詩文や版本の図様があり、中国古代の憧れの詩人たちが見ていた景觀を、あたかも目前にあるかの如く鑑賞できるような意図が存在したことを明らかにする。著者が長らく取り組んできた研究成果を、大雅生誕三〇〇年の記念の年に刊行する。

著者略歴

出光佐千子（いでみつ・ちか子）

出光美術館館長・青山学院大学准教授。

一九七三年東京都生まれ。一九九八年慶應義塾大学経済学部卒業。二〇〇六年慶應義塾大学大学院文学研究科哲学専攻美学美術史分野博士後期課程単位取得退学。博士（美学）。

博士後期課程在学中に渡英し、英国セインズベリー日本藝術研究所研究員として、大英博物館日本部で学芸員の補佐を務る。二〇〇七年に帰国後、出光美術館学芸員、二〇一三年より

青山学院大学文学部比較芸術学科学科准教授に着任し、現在に至る。専門は日本近世絵画史。研究テーマは、文人画家・池大雅の風景画をめぐる詩と画の鑑賞サークル。著書に『展覧会図録『大雅・蕪村・玉堂と仙厓―「笑」のころ』（出光美術館、二〇一一年）、『没後五十年 小杉放菴―（東洋）への愛―』（出光美術館、二〇一五年）、共著『風俗絵画の文化学―Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』（思文閣出版、二〇〇九年、二〇一二年、二〇一四年）などがある。

B5判上製函入 本文 304 頁 口絵 24 頁

ISBN 978-4-8055-0978-4 C3071

2023 年 12 月刊

定価 30,800 円

（本体価格 28,000 円＋税 10%）

中央公論美術出版



池大雅の「真景」観を紐解く著者永年の研究成果

目次

序章 池大雅研究の現状と課題	第一部 池大雅の作画環境	第七章 西湖への憧れ	第一節 「瀟湘八景画帖」における詩画の鑑賞
第一章 池大雅評価の歴史的変遷	第二章 池大雅の真景図と制作背景	第二節 「餘杭幽勝図屏風」の景観表現の意味および形態の源泉	第二節 「瀟湘勝概図屏風」と伝玉潤詩
第二節 問題の所在と目的	第三章 富士山図における大雅の「真景」的表現	第三節 真景表現としての八景	第三節 真景表現としての八景
第三節 本書の構成	第四章 「真景」概念の再検討	第四節 西湖図の鑑賞方法	第四節 西湖図の鑑賞方法
第一部 池大雅の作画環境	第五章 八景と四季表現	第五節 萬福寺東方丈牒絵「西湖図」をめぐる問題	第五節 萬福寺東方丈牒絵「西湖図」をめぐる問題
第一章 池大雅評価の歴史的変遷	第六章 「瀟湘八景図」研究	第六節 景観に表された意味について	第六節 景観に表された意味について
第二章 池大雅の真景図と制作背景	第七章 「瀟湘八景図」研究	第七節 景観に表された意味について	第七節 景観に表された意味について
第三章 富士山図における大雅の「真景」的表現	第八章 「瀟湘八景図」研究	第八節 景観に表された意味について	第八節 景観に表された意味について
第四章 「真景」概念の再検討	第九章 「瀟湘八景図」研究	第九節 景観に表された意味について	第九節 景観に表された意味について
第五章 八景と四季表現	第十章 「瀟湘八景図」研究	第十節 景観に表された意味について	第十節 景観に表された意味について
第六章 「瀟湘八景図」研究	終章 詩景と重奏する真景	終章 詩景と重奏する真景	終章 詩景と重奏する真景
第七章 「瀟湘八景図」研究	初出一覧	初出一覧	初出一覧
第八章 「瀟湘八景図」研究	あとがき	あとがき	あとがき
第九章 「瀟湘八景図」研究	索引	索引	索引
第十章 「瀟湘八景図」研究			

関連書籍

渡辺崋山 一作画と思想

目比野秀男 著

定価 14,300 円 (本体価 13,000 円 + 税 10%)

本書は武士、学者、画家として生きた渡辺崋山 (1793-1841) の、晩年の作画活動とその海防思想との関わりを明らかにし、これまで看過されてきた蟄居時代の作品制作時期の推定や遺書の実相に迫る。また崋山と師友たちとの交わりから、崋山にとって作画とは何であったのか、そして椿椿山に宛てた遺書に記された「極秘永訣」の意味について解明を試みる。

A5 判上製両入 本文 340 頁 口絵 8 頁

2023 年 12 月刊 ISBN 978-4-8055-0977-7

江戸時代の女性画家

実践女子大学香雪記念資料館所蔵女性画家作品図録
仲町啓子 編

定価 11,000 円 (本体価 10,000 円 + 税 10%)

これまで日本美術史の研究において等閑視されてきた江戸時代の女性画家について、その緒に就くべく、その設立から女性画家の作品を収集してきた実践女子大学香雪記念資料館の収蔵品の作品論を中心に、25人の女性画家の多彩な人生と制作の魅力について論じた。さらには実践女子大学香雪記念資料館が所蔵する現代までの女性画家74人175点の作品をカラー図版にて掲載。コラム・略伝も付す充実の内容にて刊行する。

A4 判上製カバー装 本文 112 頁 カラー図版 160 頁 後付 24 頁

2023 年 3 月刊 ISBN 978-4-8055-0969-2

江戸期実景図の研究

鶴岡明美 著

定価 16,500 円 (本体価 15,000 円 + 税 10%)

谷文晁「公余探勝図」を端緒とする江戸時代後期に盛行した、記録性を重視した実景表現による作品群について、諸作例の作風の特徴を分析し、描き続けられ受容されるに至った背景について、歴史的事象との関連性を明示した。実景図に具体的な検討を加え、その表現の系譜を解明し、こうした表現方法が生成された背景についての史的考察を試みた研究成果。

A5 判上製両入 本文 432 頁 口絵 16 頁

2012 年 10 月刊 ISBN 978-4-8055-0686-8

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1

IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

お取り扱いほ